第23回 乙女高原フォーラム

2026年1月25日（日）
午後1時 ～ 3時30分
山梨市民会館（地図裏面）
参加費 無料　申込み 不要

【テーマ】
乙女高原のチョウと生物多様性

春から秋、乙女高原では、たくさんの花がバトンタッチするように交代で咲きます。花々をチョウたちが訪れ、蜜を吸い、花粉を他の花に届けます。一口に花といっても、大きさも形も色も咲く時期も多種多様。そんな花を訪れるチョウもまた多種多様で、様々な大きさ、形、色、生活があります。

今回の乙女高原フォーラムでは、チョウにスポットを当てます。乙女高原にはどんなチョウがいるのか、季節によって見られるチョウは違うのか、花以外を求めるチョウはいるのか、幼虫はどこにいて、どんな姿なのかなどを知り、自然観察の楽しみを増やしてください。

なお、チョウの中には人知れず絶滅の危機にあるものもいます。私たちが今、保全の手を差しのべないと、私たちの子孫は魅力あふれるチョウの姿を見られなくなるかもしれません。フォーラムではそんなチョウたちの現状にも心を寄せていただきたいです。

写真の説明：左上から時計回りに、なわばりを争うアイノミドリシジミ、花を行き交うクジャクチョウ、求愛するミドリヒョウモン、メスを待ち構えるオスのヒメギフチョウ　　写真提供：宇津貴史さん

今回のスペシャルゲスト
北原 正彦さん

きたはら まさひこさん。山梨県笛吹市出身。小さい頃から昆虫（特に蝶）が大好きで、その後、蝶の研究にのめり込み、筑波大学で学位（理学博士）を取得。定年前は、山梨県富士山科学研究所で希少蝶類の生息環境や保全対策について研究し、退職後は衰亡著しい里地里山の蝶の保全を目指して奮闘中。現在、甲武信ユネスコエコパーク保全活用委員会、南アルプスユネスコエコパーク科学委員会、山梨県環境影響評価等技術審議会の各委員、環境省自然共生サイト有識者マッチング制度認定有識者等。